

## 山梨県立美術館協議会資料

平成27年10月2日(金)

山梨県立美術館

## 目次

ページ

<u>山梨県立美術館協議会名簿</u>	1
<u>山梨県附属機関の設置に関する条例 他</u>	2
<u>山梨県立美術館組織図</u>	4
<u>指定管理者組織図</u>	5
<u>山梨県立美術館活動報告(概要)</u>	6
<u>観覧者数の推移</u>	7
<u>施設利用者の状況</u>	8
<u>平成26～27年度 特別展等一覧</u>	9
<u>教育課程の実施状況について</u>	11
<u>指定管理者活動報告</u>	17
<u>県立文化施設外国人対応拡充事業概要</u>	20

# 山梨県立美術館協議会委員名簿

任期:平成26年10月1日～平成28年9月30日

区分	氏名	役職	出身分野(勤務先等)
委嘱	飯野 章	山梨県市町村教育委員会連合会代表	社会教育関係 (南アルプス市教育委員)
"	塩島 明美	山梨県社会教育委員連絡協議会代表	社会教育関係 (市川三郷町社会教育委員)
"	秋山 弘	ミュージアム甲斐・ネットワーク(美術)代表	学識経験者 (春仙美術館長)
"	鶴田 一香	山梨県文化協会連合会代表	学識経験者 (山梨県文化協会連合会会長)
"	古屋 知子	元山梨県教育委員会教育委員長	学識経験者 (元山梨県教育委員会教育委員長)
"	手塚 義彦	山梨美術協会代表	学識経験者 (山梨美術協会代表)
"	高野孫左之門	株式会社吉字屋本店代表取締役社長	学識経験者 (株式会社吉字屋本店代表取締役社長)
"	野口 英一	報道関係	学識経験者 (山梨放送・山梨日日新聞社社長)
"	金丸 康信	報道関係	学識経験者 (テレビ山梨代表取締役社長)
"	飯野 奈津子	報道関係	学識経験者 (NHK甲府放送局局長)
"	笹本 禮子	山梨県立美術館協力会代表	学識経験者 (山梨県立美術館協力会副会長)
"	矢島 良夫	公募委員	家庭教育関係者
"	長谷川 由希	公募委員	家庭教育関係者
任命	齊藤 文栄	山梨県公立小中学校長会代表	学校教育関係 (笛吹市立一宮北小学校校長)
"	秋山 宏子	山梨県高等学校長協会代表	学校教育関係 (県立山梨高等学校長)

○山梨県附属機関の設置に関する条例（抜粋）

（趣旨）

第一条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第百三十八条の四第三項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

（附属機関の設置及び担当事務）

第二条 知事の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

（略）

2 教育委員会の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

（略）

山梨県立美術館協議会

山梨県考古博物館協議会

山梨県地方産業教育審議会

山梨県文学館協議会

（組織）

第四条 附属機関は、別表第一、別表第二及び別表第三の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の要件欄に掲げる者のうちから、知事（教育委員会の附属機関にあっては、教育委員会。以下同じ。）が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の任期欄に掲げるとおりとする。（会長等）

第五条 附属機関に、規則で定めるところにより、会長又は委員長（以下「会長」と総称する。）及び副会長又は副委員長（以下「副会長」と総称する。）を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあっては、会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

（会議）

第六条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、規則で定める場合を除くほか、委員の二分の一以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（委任）

第八条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第一（第二条、第四条関係）

二 教育委員会の附属機関

附属機関	担当事務	委員の定数	委員の要件	委員の任期
山梨県立美術館協議会	博物館法(昭和二十六年法律第二百八十五号)第二十条第二項の規定による山梨県立美術館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務	十五人以上	一 学校教育の関係者 二 社会教育の関係者 三 家庭教育の向上に資する活動を行う者 四 学識経験のある者	二年

○山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則（抜粋）

（趣旨）

第一条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例（昭和六十年山梨県条例第三号。以下「条例」という。）の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

（補欠委員の任期）

第三条 委員に欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（平六教委規則二・旧第二条繰下）

（会長及び副会長）

第四条 条例第五条第一項の規定により、附属機関に会長及び副会長一人を置く。

（定足数の特例）

第五条 条例第六条第二項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	定足数
山梨県高等学校入学者選抜制度審議会	過半数
山梨県へき地等教育振興審議会	過半数
山梨県立美術館協議会	過半数
山梨県考古博物館協議会	過半数
山梨県文学館協議会	過半数
山梨県地方産業教育審議会	過半数
山梨県スポーツ振興審議会	過半数

（意見の陳述）

第九条 関係職員は、会長の許可を得て、附属機関の会議に出席し、審議事項に関して意見を述べることができる。

（定例会及び臨時会）

第十二条 次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議は、定例会及び臨時会とし、定例会の開催回数は、同表の開催回数欄に掲げるとおりとする。

附属機関	開催回数
山梨県立美術館協議会	年二回
山梨県考古博物館協議会	年二回
山梨県文学館協議会	年二回

2 前項に規定する臨時会は、必要に応じて開催する。

（昭六一教委規則一・旧第十一条繰下、平元教委規則五・一部改正）

（庶務）

第十三条 附属機関の庶務は、次の表の所属欄に掲げる所属において処理する。

附属機関	所属
山梨県図書館協議会	図書館
山梨県高等学校入学者選抜制度審議会	高校教育課
山梨県へき地等教育振興審議会	義務教育課
山梨県特別支援教育振興審議会	高校教育課
山梨県立美術館協議会	美術館
山梨県考古博物館協議会	考古博物館
山梨県文学館協議会	文学館
山梨県地方産業教育審議会	高校教育課
山梨県スポーツ振興審議会	スポーツ健康課

（昭六一教委規則一・旧第十二条繰下・一部改正、昭六三教委規則七・平元教委規則五・平四教委規則三・平六教委規則二・平八教委規則四・平九教委規則八・平一九教委規則三・一部改正）

（委任）

第十四条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

○博物館法（抜粋）

（博物館協議会）

第二十条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第二十一条 博物館協議会の委員は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

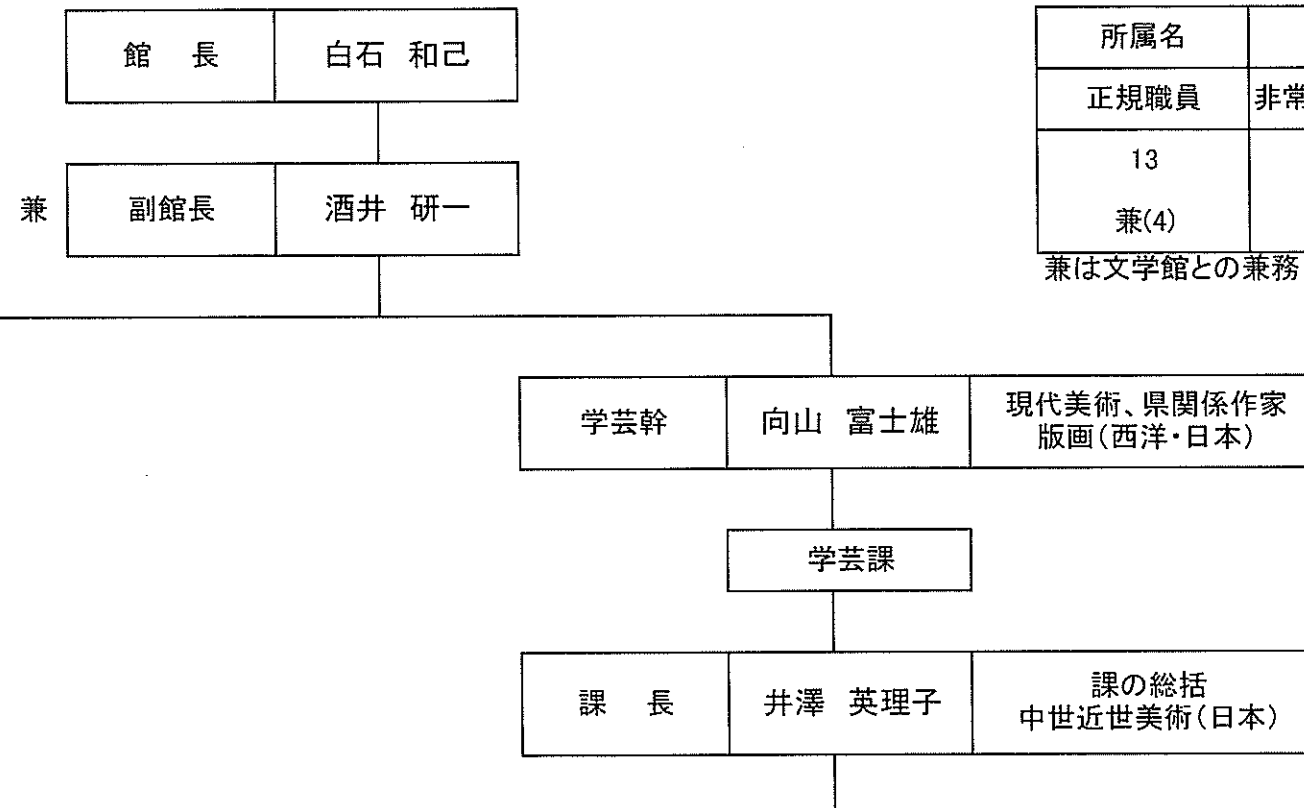
第二十二条 博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

# 美術館組織図

平成27年10月1日現在

所属名	県立美術館		
正規職員	非常勤嘱託職員	臨時職員	計
13	5	1	19
兼(4)	兼(1)		兼(5)

兼は文学館との兼務 内数



兼	課長	大関 範彦	課の総括 美術館協議会
---	----	-------	----------------

	職名	氏名	主たる業務
兼	リーダー主査	名取 浩樹	担当の総括 予算管理
兼	主任	渡邊 美幸	会計・経理 旅費・福利
兼	非常勤嘱託	小尾 祐子	職員給与等 共済組合、互助会

## 学芸担当

職名	氏名	主たる業務
学芸員	高野 早代子	県関係作家(近現代) 作品保存
学芸員	太田 智子	近現代美術(西洋・日本)
学芸員	小坂井 玲	近代美術(西洋・ミレ)
学芸員	森川 もなみ	近現代美術(西洋・日本)
非常勤嘱託	雨宮 千鶴	学芸補助
非常勤嘱託	伊藤 茜	学芸事務
臨時職員	数野 純哉	事務補助

## 普及担当

職名	氏名	主たる業務
リーダー学芸員	平林 彰	担当の総括 近世近代美術(日本) 美術館教育
主査・教育主事	中島 博美	美術館教育
主査・教育主事	五味 一也	美術館教育
非常勤嘱託	露木 和雄	協力員指導

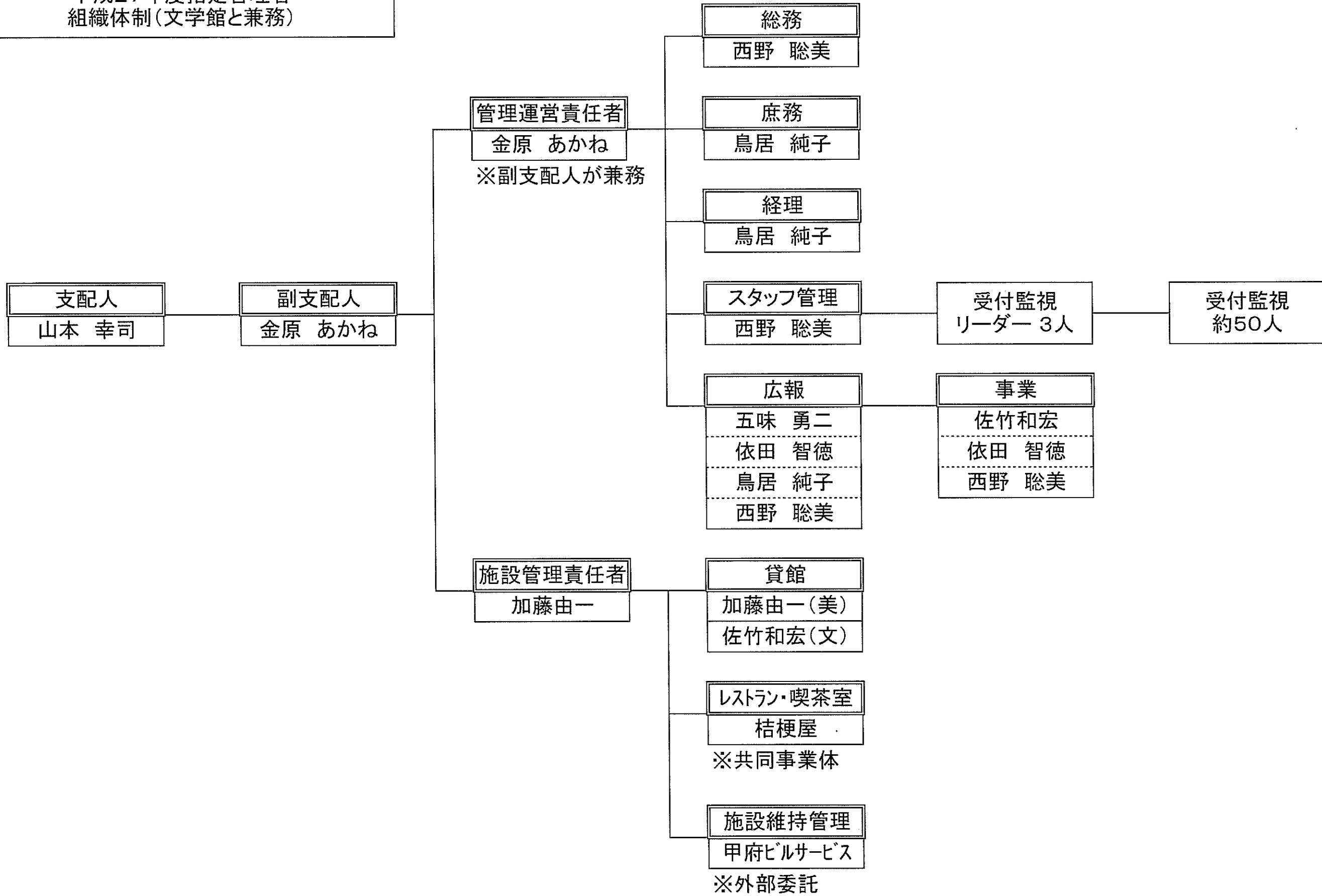
## 美術館協力会

職名	氏名	主たる業務
協力会職員	小杉 佳子	協力会経理
協力会職員	渡邊 弘美	協力会経理
協力会職員	内海 仁美	協力会売店

※副館長及び総務課職員は、文学館と兼務

平成27年度指定管理者  
組織体制(文学館と兼務)

平成27年10月1日現在



## 山梨県立美術館活動報告（概要）平成27年度 後期並びに28年度前期

### 美術館活動における長期目標

○県民の美術に関する知識・教養の向上を図り、県民文化の発展に寄与するため以下のような長期目標を掲げる。

【展示／見る】幅広いジャンルでの質の高い特別展示とともに「西洋美術」「山梨ゆかりの美術」「日本の近現代美術」などのコレクションを使った常設企画展示の一層の充実を図る。

【教育普及／学ぶ】生涯学習の進展や教育課程における総合学習の充実化にともない、より多様な学習機会の提供を行う。

【付加価値・魅力／憩う】本来の美術館機能に加え、さまざまな付加価値を充実させ、より魅力ある「憩いの場」の創造と提供を行う。

### 平成27年度の活動の状況

【展示／見る】・多様な来館者ニーズに応え、幅広いジャンルの特別展や魅力ある常設企画展を開催する。

〈常設展〉

- ・新鮮なイメージの常設展をめざし、テーマ性を打ち出した年4回の企画展示を行う。  
春「県美コレクションの魅力 ①花を描いた画家たち ②明暗表現 ③ぶどうの国の版画家たち」  
夏「ボクとワタシの夏休み -子供とめぐる美術館-」「水彩画のきらめき」  
秋「対決 超絶技巧」
- ・「ミレー館」の開設以降、集客を維持するための魅力を改めて県外にPRするための積極的な広報活動の実施（県観光部、国文祭課、JR東日本・JR東海・山梨交通・甲府市観光協会・甲斐市観光課などとの連携）。大手旅行会社との連携による旅行ツアーにより顧客確保の増進に努めた。
- ・ミレー作品などの燻蒸、監視カメラ交換、展示室壁面の塗り替え工事。ミレー館・常設展示室Ⅱの閉室
- ・コレクション企画展「命をめぐる物語」1月26日（火）～3月6日（日） ミレー主要作品同時展示

〈特別展〉

- ・夜の画家たち -蠟燭と光のテネブリズム- 4月18日（土）～6月14日（日）
- ・近代風景画の創造 ノルマンディー展 6月27日（土）～8月23日（日）
- ・ルートヴィヒ・コレクション ピカソ回顧展 9月1日（土）～10月25日（日）
- ・花の画家たち ルドゥーテのバラ展 11月3日（土）～1月17日（日）

【教育普及／学ぶ】アートレクチャーや講座の充実を図り、より幅広い県民の参加を促進。

県民のニーズに対応した美術館教育プログラムの作成・提供に務め、世代別・習熟度別プログラムや高齢者障がい者への実技講座やレクチャーなどの実施。

学校教育と対応して、児童生徒への鑑賞・実技指導を実施。また、学校教師への実技指導・美術教育に関する積極的な意見交換も行い連携を深めた。

美術館から職員が外に出て、様々な会場でのワークショップや授業、鑑賞研修会などを実施。

〈活動内容〉

- ・キッズプログラム（小中高高校生対応） ・校外学習対応展示室での鑑賞、実技体験及び職場体験活動
- ・学校への出前授業 ・アートボックス貸出し ・施設の貸出 ・造形広場 ・創作教室
- ・アート・カード 「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」交付金を活用
- ・みんなで作る美術館（みなび展）の実施 ・教師のための鑑賞研究会 ・大人のための美術講座
- ・ことぶき勸学院への協力（総務課対応） ・ギャラリー・トーク ・映画会
- ・美術体験・実技講座（初心者・障がい者含む） ・県民ギャラリー利用者の創作活動PR支援

【付加価値・魅力／憩う】〈魅力あふれる美術館をめざして〉

〈質の高いサービス提供〉

- ・美術館ボランティアのスキルアップをめざして研修・学習会を実施。

〈様々な付加価値の創造〉

- ・地元音楽家・団体や学校現場との協働によるロビーコンサートを毎週日曜日に開催。（SPS）
- ・レストランサービスの向上をめざして運営企業と情報交換・協議。
- ・ミュージアム甲斐イン券並びに定期観覧券所持者への割引サービス。売店、レストラン。
- ・首都圏からの来館者増を目的に、中央紙への広告の掲載。（SPS）
- ・芸術文化のまちづくりでNPOを支援＝貢川アートフェスタ後援

〈県・指定管理者・県民との円滑なリレーションシップ〉

- ・本美術館の特色・魅力を十分に伝えられる情報発信・積極的な広報とパブリシティの実施。
- ・展覧会事業を報道機関と共催、県民への情報提供の機会を大幅に増やすことができた。
- ・新たな集客に向け、アンケートによる調査などを積極的に取り入れ、県民ニーズの把握に努める。

〈外国人対応拡充事業〉

- ・「地域住民生活緊急支援のための交付金」を活用。館内サイン計画、HPリニューアル、収蔵品アーカイブス、案内印刷物、デジタルサイネージ、ガイドンスDVD などの見直しと拡充。

### 中期目標と平成28年度の具体的活動予定

- 1, 戦後山梨の美術を再検証するとともに、郷土関係作家の新たな展覧会を企画立案する。
- 2, 様々なジャンルや時代・国の美術を紹介する特別展をバランス良く展開する。
- 3, アンケート調査などを取り入れ、県民ニーズ等の把握に積極的に取り組み集客力の向上を図る。  
・広報活動の強化。

【展示／見る】

- ・開催趣旨と目標（集客、研究、人気もの etc）を明確にした企画展の開催と、リピーターとして何度も美術館に行きたくくなるような常設企画の魅力ある展示のあらたな創出を図る。

〈常設展〉従来の常設展のイメージを一新した展示空間の創作に心がけ、テーマ展示や企画コーナーを設けるなど、新たな魅力ある展示を行う。

- ・常設展示室（ミレー館・常設展示Ⅱ・萩原記念室）を使った年4回の常設企画展示替えを実施。
- ・学芸員それぞれの個性を生かしてテーマ展示や新設コーナーを設け、特別展のようなタイトルを付けるなど、興味を持って鑑賞してもらえるよう精一杯の工夫や配慮をする。
- ・新しく、わかりやすい展示名称への変更

〈特別展〉

- ・幅広い分野に渡り、また郷土ゆかりの作家に関連するなど、テーマに趣向を凝らした展示会を、例年と同様に4回程度開催することを検討中

【教育普及／学ぶ】アートレクチャーや講座の充実を図り、より幅広い県民の参加を促進。

- ・アート・カードを導入した、新たな作品鑑賞の「見るヒント」「感じるヒント」の一助になる実践を紹介。
- ・県民ニーズに応じた美術館教育プログラムの作成・提供に務め、世代別・習熟度別プログラムや障がい者への実技講座なども実施していく。
- ・教育現場と連携して、年齢ごとの学びの場として会場を提供し、キャリア教育等にも活かしていく。
- ・学校教育と対応して、児童生徒への実技指導を実施。また、学校の教師への実技指導・美術教育に関する積極的な意見交換も行い連携を深める。

〈活動内容〉

- 「博学連携を中心とした学校・社会教育施設との連携強化」
- ・キッズプログラム（小中高高校生対応） ・映画会 ・職場体験授業 ・校外学習への対応（オリエンテーション、展示室での鑑賞、実技体験） ・ギャラリートーク ・学校への出張授業 ・アートボックス貸出
- ・施設の貸出 ・創作教室 ・造形広場 ・みんなで作る美術館（みなび） ・教師のための鑑賞研究会
- ・大人のための美術講座 ・美術体験・実技講座（初心者・障がい者含む） ・ギャラリートーク
- ・県民ギャラリー利用者への活動PR支援・ことぶき勸学院への協力
- 「地域との連携強化」
- ・甲府市並びに甲斐市との連携の強化。
- ・美術館周辺校との連携（新田小学校の総合学習の時間を利用したギャラリー・トークの実施）。

【付加価値・魅力／憩う】美術館への好感度向上をめざして、さまざまな取り組みを実施。

- ・質の高いサービスを提供するため、研修の強化などを行い、引き続き美術館ボランティア（案内、解説、情報 etc.）のスキルアップに務める。
- ・様々な付加価値の創造に継続して取り組む。
- ・地元音楽家・団体、学校のコーラス部との協働による週末のロビーコンサートや小イベントを継続して実施。
- ・ミュージアムショップでの楽しい買い物に向けて、魅力ある新商品の開発等を実施。
- ・県民との円滑なリレーションシップを目指して、本美術館の特色・魅力をしっかりと情報発信。
- ・やまなしの文化情報ネットワークやノウハウを最大限活用した積極的な広報とパブリシティの実施。

▶▶▶▶▶▶ これらの取り組みを着実に進めて、より多くの県民の来館に結びつける。

山梨県立美術館の観覧者数の推移

年度	開館日数	常設展	特別展・新収蔵品展等	観覧者数合計
S53	118	160,594	91,501	252,095
54	295	316,325	152,418	468,743
55	298	410,214	110,951	521,165
56	297	421,759	124,772	546,531
57	296	401,864	107,843	509,707
58	295	391,408	118,381	509,789
59	298	416,423	87,280	503,703
60	299	396,782	193,786	590,568
61	302	443,656	116,263	559,919
62	298	454,876	78,845	533,721
63	296	471,011	109,642	580,653
H1	304	408,088	71,341	479,429
2	293	409,354	69,818	479,172
3	300	379,707	162,035	541,742
4	290	359,582	155,457	515,039
5	287	320,179	97,028	417,207
6	278	270,067	79,467	349,534
7	300	262,845	71,246	334,091
8	289	276,556	86,910	363,466
9	293	202,358	53,780	256,138
10	281	266,846	167,521	434,367
11	298	176,533	89,962	266,495
12	300	149,708	84,963	234,671
13	301	122,857	65,484	188,341
14	301	166,783	131,560	298,343
15	288	90,783	43,766	134,549
16	298	115,874	83,408	199,282
17	301	100,777	50,203	150,980
18	309	96,898	35,385	132,283
19	309	99,823	64,421	164,244
20	307	112,410	85,669	198,079
21	309	117,250	57,803	175,053
22	310	98,986	61,123	160,109
23	310	103,181	84,090	187,271
24	311	120,650	67,736	188,386
25	306	97,569	59,204	156,773
26	308	137,316	112,138	249,454
27	135	38,277	29,654	67,931
計	11,008	9,386,169	3,512,854	12,899,023

平成27年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数
4	26	6,052
5	27	7,935
6	25	7,184
7	28	6,340
8	29	10,766
9		
10		
11		
12		
1		
2		
3		
計	135	38,277

平成26年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数
4	27	8,168
5	27	8,373
6	25	8,118
7	27	11,840
8	29	60,653
9	25	6,688
10	29	8,205
11	27	9,614
12	22	3,245
1	26	4,450
2	24	4,157
3	20	3,805
年度計	308	137,316

8月まで計	135	97,152
-------	-----	--------

前年比 39.4%

特別展・新収蔵品展等 (H27年8月まで)

展覧会名	開催日数	観覧者数
H26新収蔵品展	11	2,515
夜の画家たち	50	12,348
ノルマンディー展	53	14,791
ピカソ展	49	
ルドゥーテのバラ展	63	
コレクション企画展	36	
H27新収蔵品展	5	
	267	29,654

特別展・新収蔵品展等 (H26年度)

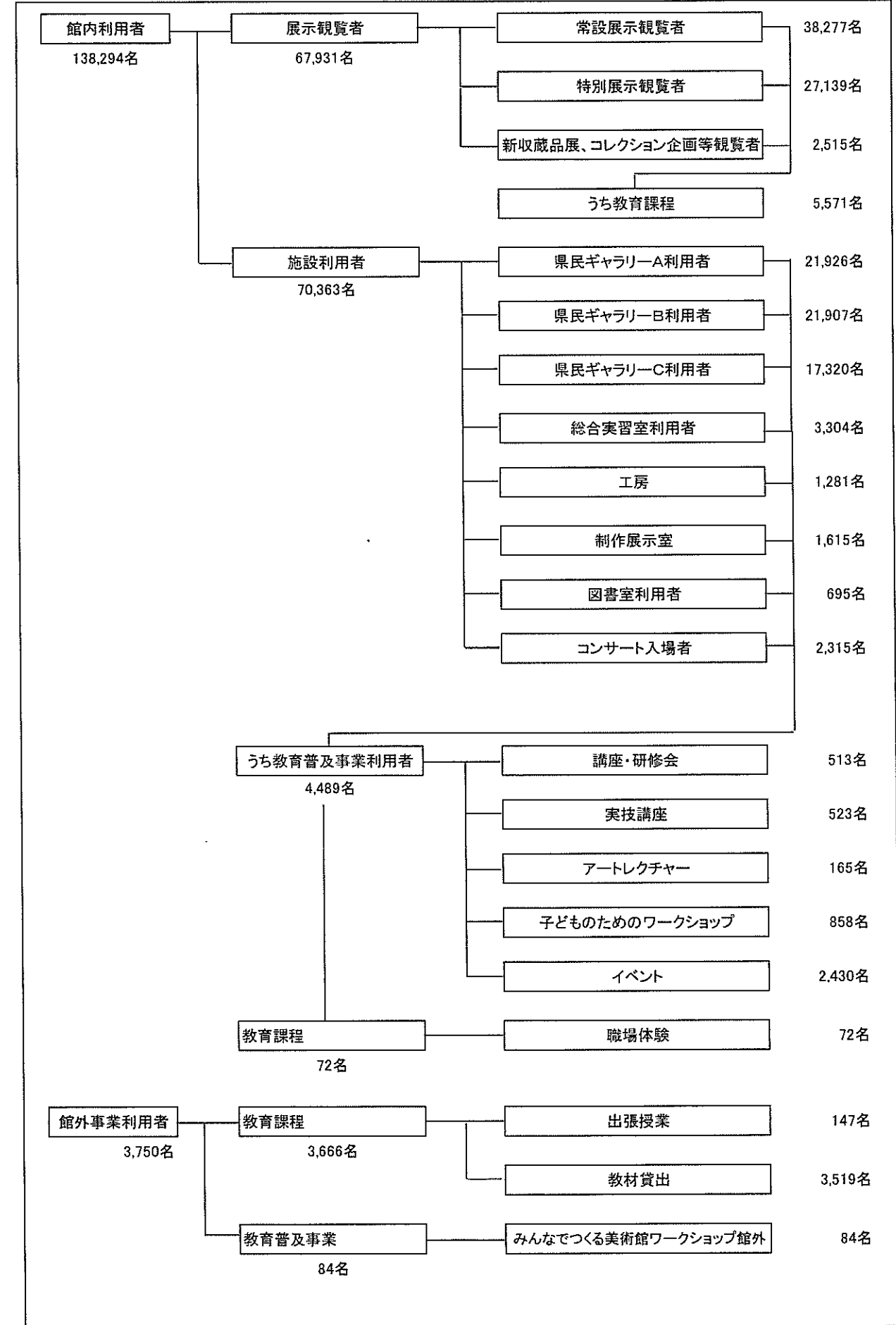
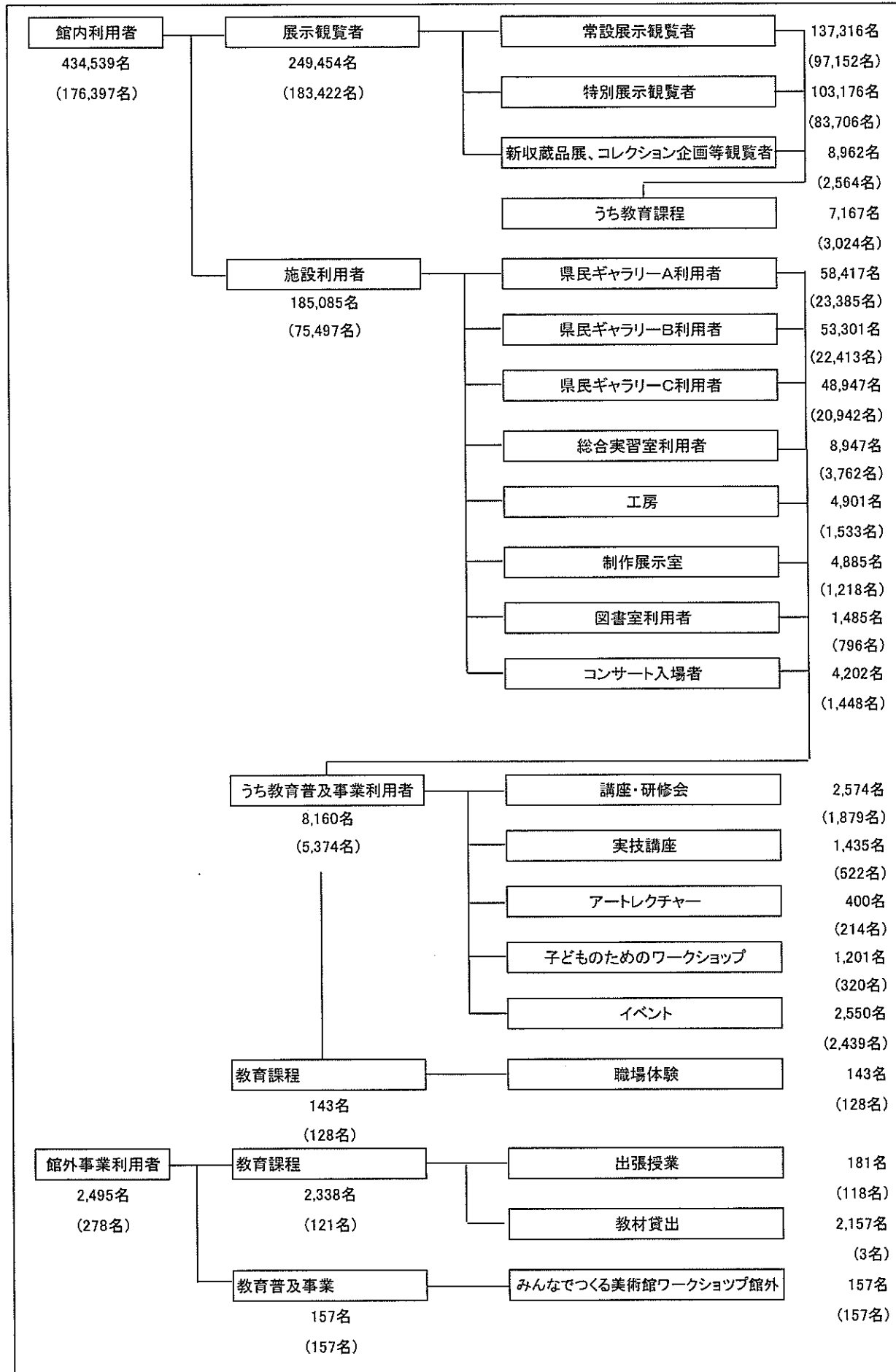
展覧会名	開催日数	観覧者数
H25新収蔵品展	12	2,564
キネティックアート展	45	11,269
生涯200年 ミレー展	40	72,437
やまなしの戦後美術展	41	5,511
佐伯祐三とパリ展	52	13,959
コレクション企画展 山梨の魅力	26	4,720
H26新収蔵品展	9	1,678
	225	112,138



美術館における「利用者」の状況

平成26年度実績。( )は8月末現在

平成27年8月末現在



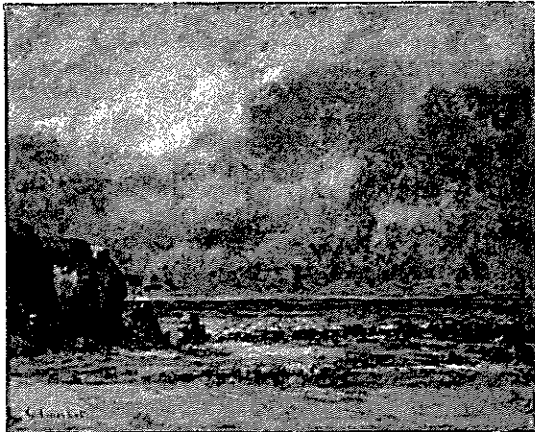
○美術館の利用者とは、美術館の施設、提供するサービスを利用した者および美術館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。

平成26年度 特別展一覧

特別展名	期間	概要	観覧者数
山梨県立美術館新収蔵品展	3月29日(土) ~ 4月13日(日)	平成25年度に新たに収蔵した資料を中心に公開しました。	2,564人
動く！光る？魔法の芸術 キネティック・アート	4月26日(土) ~ 6月15日(日)	1950～1960年代にかけて、ヨーロッパで「キネティック・アート(動く芸術)」と呼ばれる芸術作品が制作されました。これは「動くこと」を主題とした作品で、機械仕掛けで動いたり、時間の経過とともに色や形が変化したり、光を使ったりしています。また、錯視(目の錯覚)を利用した作品も含まれます。 本展では、ブルーノ・ムナリー、ジャンニ・コロンボらイタリアの作家たちの作品や、ジョセフ・アルパース、ヴィクトル・ヴァザルリ、ラファエル・ソトなどの作品、あわせて約90点を紹介しました。いずれの作品も日本初公開となる展覧会を開催しました。	11,269人
生誕200年 ミレー展 -愛しきものたちへのまなざし-	7月19日(土) ~ 8月31日(日)	画家の生誕200年を記念する本展では、初期から晩年までのミレーの画業を通観するとともに、これまでいわゆる「農民画」の周辺作品と捉えられがちであった、家族の肖像、生活の情景や風景を描いた作品にも改めて焦点をあて、画家ミレーの全貌を捉え直し、ミレー芸術の広がりをご紹介する展覧会を開催しました。	72,437人
やまなしの戦後美術—四人の革新者たち	9月20日(土) ~ 11月3日(月)	本展は、戦後、革新的な表現を行い、立体、工芸、版画、平面のジャンルで意欲的に作品制作と発表を続け、独自の世界を築いた、山梨ゆかりの四人の作家、橋田尚之、松田富彌、河内成幸、深沢軍治を取り上げ、それぞれの代表作を紹介しました。四人の初期作品から最新作までを4つの展示室にそれぞれ個展形式で展示し、会期中には橋田尚之、河内成幸、深沢軍治を講師に迎え、彼らの考え方や制作方法についての分かりやすい解説を聞きながら、実技体験ができる講座なども開催しました。	5,511人
大阪新美術館コレクション 佐伯祐三とパリ ポスターのある街角	11月15日(土) ~ 1月18日(日)	大阪で生まれた佐伯祐三(1898～1928)は、東京美術学校を卒業した後フランスに渡り、パリの石造りの建物やポスターが貼られた壁にモチーフを見出し、独自の様式を確立しました。 本展では、大阪新美術館建設準備室所蔵の佐伯祐三コレクションから58点を出品し、初期から亡くなるまでの佐伯の画業を辿り、さらに、佐伯と交流のあった同時代の画家の作品や当時のパリの雰囲気伝えるポスターを展示し、佐伯が魅せられた芸術の都パリの息吹を伝える展覧会となりました。	13,959人
コレクション企画展 やまなしの魅力 ～風景と人々の営み～	1月31日(土) ~ 3月1日(日)	富士山が世界文化遺産に登録され、リニア中央新幹線の開通が現実的になり、とかく山梨が注目されている昨今。 本展では、富士山はもとより、昇仙峡、南アルプスの山々、富士川といった名所風景と、豊かな自然に囲まれた土地で生き生きと過ごす人々の様子を描いた作品を選び抜き紹介し、その魅力を改めて見直すスペシャル展示を開催しました。	4,720人
山梨県立美術館新収蔵品展	3月28日(土) ~ 4月12日(日)	平成26年度に新たに収蔵した資料を中心に公開しました。	1,678人

※「山梨県立美術館新収蔵品展」の観覧者数は会期全体の数ではなく、平成26年度の観覧者数のみを集計しています。

## H27（2015）年度 山梨県立美術館特別展概要

名 称	夜の画家たち — 蠟燭の光とテネブリスム —	印象派の故郷 ノルマンディー展 ～近代風景画のはじまり～	ルートヴィヒ・コレクション ピカソ展	花の画家 ルドゥーテのバラ展
会期	2015年4月18日（土） ～6月14日（日）	2015年6月27日（土） ～8月23日（日）	2015年9月1日（火） ～10月25日（日）	2015年11月3日（火・祝） ～2016年1月17日（日）
展示内容	<p>西洋の絵画技法に、光や炎によって夜や闇の中に劇的に対象を浮かび上がらせるテネブリスム（明暗主義）がある。この技法は近代の日本人画家を魅了し、亜欧堂田善、高橋由一から高島野十郎まで、独自の明暗表現を手がける日本の「夜の画家」たちが出現した。</p> <p>本展では、近代日本の闇と光の世界を、フランスの巨匠ラ・トゥールの作品などとも対比させながら明らかにする。</p>	<p>フランス北部ノルマンディーはフランスで最も人気のある保養地の一つで、19世紀初頭、英仏のロマン主義の画家たちによって、風光明媚なこの地の古い町並みや遺跡が描かれるようになった。その後、移ろいゆく光の表情や、余暇を楽しむ近代生活の情景を描いた印象派のふるさととなった。</p> <p>本展では、近代風景画の発展に寄与したノルマンディーの役割を、アンドレ・マルロー美術館を始め、国内外の所蔵作品により検証する。</p>	<p>ピカソは、油彩の他に素描、水彩、版画、陶芸などを手がけ、様々な表現手法を試みた。</p> <p>ドイツ・ケルンにあるルートヴィヒ美術館は、ルートヴィヒ夫妻が1950年頃から収集したピカソ作品約7200点の寄贈によって設立した。本展では、ルートヴィヒ美術館のコレクションから、ピカソの初期から晩年までの油彩、版画、陶器等を展示する。また、マン・レイやロバート・キャパなど有名写真家たちによるピカソのポートレートも出展する。</p>	<p>ベルギー出身のルドゥーテは、フランス王妃マリー・アントワネットやナポレオンの皇妃ジョゼフィーヌ付きの植物画家として重用された。ルドゥーテはステイプル・エングレーヴィングの超絶技巧によって、花卉の一枚一枚まで正確に且つ柔和に表現し、「花のラファエロ」とも称えられた。</p> <p>本展は、「ボタニカル・アート」の金字塔として現在も多くの人々を魅了し続けている、ルドゥーテの代表作『バラ図譜』『美花選』を紹介する。</p>
画像				
キャプション	近藤浩一路 《下京の夜》1913年	ギュスターヴ・クールベ 《海景、風》	パブロ・ピカソ 《読書する女の頭部》1953年	ジョゼフ・ルドゥーテ 『バラ図譜』より 《ロサ・ダマスケーナ》

平成26年度

教育課程における入館者数

平成26年度3月31日時点

(1) 小学校

(2) 中学校

(3) 高等学校

(4) 特別支援教育

月別入館者数

地区	回数校数	人数
甲府	31	1,374
中巨	1	52
東山	1	15
笛吹	0	0
南巨	2	36
西八	0	0
北巨	3	155
南都	0	0
北都	1	5
法人	0	0
私立	4	219
県外	5	459
計	48	2,315

引率者	172
-----	-----

地区	回数校数	人数
甲府	12	143
中巨	31	345
東山	0	0
笛吹	4	34
南巨	9	51
西八	2	114
北巨	10	204
南都	4	36
北都	6	84
法人	0	0
私立	6	168
県外	5	660
計	89	1,839

引率者	152
-----	-----

種別	回数校数	人数
県立	18	937
市立	0	0
私立	6	437
その他	1	6
県外	6	678
計	31	2,058

引率者	154
-----	-----

種別	回数校数	人数
県立	9	85
法人	0	0
県外	0	0
計	9	85

引率者	72
-----	----

(5) その他

	団体数	人数
計	26	1946

引率者	207
-----	-----

月	回数	人数
4	17	1,445
5	51	2,353
6	17	1,030
7	31	515
8	13	165
9	7	653
10	26	1,050
11	17	891
12	5	196
1	8	399
2	9	255
3	2	43
計	203	8,995

引率者計	757
------	-----

職場体験	職場体験			
	中学校	高等学校	支援学校	合計
回数	22	7	0	29
参加人数	121	22	0	143

実技体験	実技体験					
	小学校	中学校	高等学校	支援学校	その他	合計
回数	33	5	0	4	2	44
参加人数	1,566	273	0	67	90	1,996

来館日 月 日	地域	校種	学年	対応	学校・団体	児童 生徒数	引率数	内容				解説	減免	備考(学習形態、体験内容など)	
								一斉	特別	職場	実技				
4/3	甲府	小	2	○	石田小		2								下見
4/3	甲府	小	3	○	賣川小		2	○	○						下見
4/3	甲府	小	3	○	舞鶴小		1								下見
4/7	その他	他			都留文科大学国文学科										自主見学
4/7	その他	他			白百合女子大学										自主見学
4/9	甲府	小	4	○	池田小		4	○	○						下見
4/10	中巨	中	2	○	敷島中		1								下見・打ち合わせ
4/10	県立	他	1	○	山梨県立大学	106	13	○	○		○	○			一斉解説・自主観覧
4/14	南巨	中	2		増穂中	5		○	○						自主見学
4/15	北巨	中	2	○	泉中	9		○	○		○				解説後自主見学
4/15	南巨	中	1	○	早川中	8	2	○	○		○	○			解説
4/15	南巨	中	2	○	早川中	4		○	○		○				解説・インタビュー
4/16	中巨	中	2		白根御勅使中	30	1	○	○						自主見学
4/17	南巨	中	2	○	六郷中	17	4	○	○		○				解説
4/22	県立	高	1	○	上野原高校	151	14	○	○		○	○			一斉解説・自主観覧
5/1	県外	小	6		富士宮市立富士根北小	52	4	○	○		○				自主見学
5/1	北巨	中	2	○	高根中	10	1	○	○		○				解説
5/6	南巨	中	2	○	下部中	7	3	○	○						自主見学
5/8	中巨	中	2	○	竜王中	11		○	○		○				解説
5/12	甲府	小	1	○	池田小	91	7	○	○		○	○			一斉 解説 実技
5/12	南都	小	3		谷村第一小学校	69	4								
5/12	北巨	中	2	○	長坂中	10	1	○	○						一斉解説
5/12	中巨	中	2		榊形中	47	1	○	○						自主見学
5/12	西八	中	2		身延中	15	1	○	○						自主見学
5/12	北巨	中	2		明野中学校	8		○	○						自主見学
5/13	北巨	中	2		須玉中	6		○	○						自主見学
5/13	中巨	中	2		田舎中	7		○	○						自主見学
5/13	北巨	中	2		垂崎西中	6	1	○	○						自主見学
5/13	北都	中	1	○	小菅中	4	2	○	○		○	○			一斉解説
5/13	東八	中	2		春日居中学校	5		○	○						自主見学
5/14	北巨	中	2	○	垂崎東中	24	1	○	○						自主見学
5/14	中巨	中	2	○	玉穂中	3		○	○						自主見学
5/14	甲府	高		○	山梨県立甲府城西高等学校		1								下見・打ち合わせ
5/15	県外	高	1		皇樹国際高校	40	3	○	○		○				自主見学
5/15	甲府	小	2	○	石田小	58	5	○	○		○	○			一斉 解説 実技
5/15	甲府	小	3	○	舞鶴小	45	3	○	○		○	○			一斉 解説 実技
5/15	甲府	小	3	○	賣川小	51	4	○	○		○	○			一斉 解説 実技
5/15	中巨	中	2		押原中	15		○	○						自主見学
5/15	中巨	中	2		若草中学校	19		○	○						自主見学
5/15	北巨	中	2		小淵沢中学校	47	6	○	○		○				自主見学
5/16	北巨	中	2		双葉中	27		○	○						自主見学
5/20	県外	高		○	早稲田大学高等学院	87	2	○	○		○				オリエンテーション後自主見学
5/21	南都	中	2		上野原中	15		○	○		○				自主見学
5/22	中巨	中	2	○	敷島中	25		○	○		○	○			一斉 解説
5/28	南都	小	3	○	牧丘第一小		1								下見・打ち合わせ
6/2	県外	中	2	○	御殿場市立原里中	173	9	○	○		○	○			オリエンテーション後自主見学
6/3	県外	高	1	○	女子美大付属高校	210	14	○	○		○	○			総合実習室にてレクチャー後自主見学
6/5	北巨	中	2	○	武川中	27	5	○	○		○	○			解説
6/5	県外	中	1	○	開成中	301	13	○	○		○				オリエンテーション後自主見学
6/11	中巨	中	1~3	○	子どもの村中	20	2	○	○		○	○			一斉 解説
6/13	中巨	高		○	巨摩高校 定時制	23	4	○	○		○	○			一斉 解説
6/18	甲府	小	3	○	新田小3年	30	2	○	○		○	○			一斉 解説 実技
6/19	東山	小	3	○	牧丘第一小	19	3	○	○		○	○			一斉 解説 実技
6/23	甲府	小	4	○	新田小4年	21	2	○	○		○	○			一斉 解説 実技
6/25	甲府	小	2	○	新田小2年	21	2	○	○		○	○			一斉 解説 実技
6/30	甲府	小	6	○	新田小6年	29	2	○	○		○	○			一斉 解説
7/1	甲府	小	5	○	新田小5年	22	2	○	○		○	○			一斉 解説 アートカード
7/14	甲府	小	1	○	新田小1年	28	2	○	○		○	○			一斉 解説 実技
7/24	甲府	中	2	○	富士中	5	0				○	○			職場体験
7/25	甲府	中	2	○	富士中	5	0	○	○		○	○			職場体験
7/26	その他	高	2	○	山梨高校	2	0				○	○			職場体験
7/28	その他	高	2	○	白根高校	3	0				○	○			職場体験
7/28	その他	高	2	○	増穂商業	4	0				○	○			職場体験
7/28	その他	中	2	○	山梨大付属中	1	0				○	○			職場体験
7/29	その他	高	2	○	白根高校	3	0	○	○		○	○			職場体験
7/29	その他	高	2	○	増穂商業	4	0	○	○		○	○			職場体験
7/29	中巨	中	2	○	押原中	2	0				○	○			職場体験





来館日 月 日	地域	校種	学年	対応	学校・団体	児童 生徒数	引率数	内容				解説	減免	備考(学習形態、体験内容など)	
								一斉	特別	職場	実技				
7/29	その他	中	2	○	山梨大付属中	1	0	○	○	○		○	○		職場体験
7/30	その他	高	2	○	白根高校	3	0			○		○	○		職場体験
7/30	その他	高	2	○	増穂商業	4	0			○		○	○		職場体験
7/30	その他	中	2	○	山梨大付属中	1	0			○		○	○		職場体験
7/30	中巨	中	1	○	押原中	2	0			○		○	○		職場体験
7/31	その他	高	2	○	山梨高校	2	0	○	○	○		○	○		職場体験
7/31	中巨	中	1	○	押原中	2	0	○	○	○		○	○		職場体験
7/31	甲府	中	3	○	上条中	3	0	○	○	○		○	○		職場体験
8/1	甲府	中	2	○	上条中	4	0			○		○	○		職場体験
8/2	甲府	中	2	○	上条中	4	0			○		○	○		職場体験
8/4	甲府	中	2	○	甲府西中	4	0	○	○	○		○	○		職場体験
8/4	甲府	中	2	○	甲府北中	2	0	○	○	○		○	○		職場体験
8/4	甲府	中	2	○	富士中	1	0			○		○	○		職場体験
8/4	中巨	中	2	○	押原中	1	0			○		○	○		職場体験
8/5	甲府	中	2	○	甲府西中	4	0			○		○	○		職場体験
8/5	甲府	中	2	○	甲府北中	2	0			○		○	○		職場体験
8/6	甲府	中	2	○	甲府西中	4	0			○		○	○		職場体験
8/6	中巨	中	2	○	八田中	2	0			○		○	○		職場体験
8/2	甲府	高		○	城西高校インターアクト部	59	32	○	○			○	○		解説

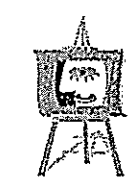



教育課程における入館者数まとめ  
平成27年4月1日~8月31日時点

	校数	児童・生徒数	引率人数
小学校	18	536	52
中学校	50	955	54
高等学校	15	595	70
その他	3	106	13
計	86	2192	189

# 平成 27 年度 キッズ・プログラム

～ 特別展を中心とした、小・中・高校生が楽しめる内容のプログラムです ～

プログラム名	開催日時	イベント内容 (☐は特別展名)	対象	申込期間
ことども美術館① 「夜の絵画を 探検しよう」 	6月6日(土) ①午前10:00～11:00 ②午後1:30～2:30	夜の画家たち ～彌橋の光とテネブリスム～ ラ・トゥールを中心としたテネブリスムについて、楽しみながら理解を深めるレクチャーです。	小学1～6年生 と その保護者	5月6日 ～ 6月5日 午後5時まで
ことども美術館② 探検! タイムトラベラー 「ノルマンディー編」 	7月18日(土) ①午前10:00～11:00 ②午後1:30～2:30	印象派の故郷 ノルマンディー展 ～近代風景画のはじまり～ 絵画に描かれたフランス・ノルマンディー地方を探検します。参加者にはもれなく「探検手帳」をプレゼント!	小学1～6年生 と その保護者	6月18日 ～ 7月17日 午後5時まで
中高生のための ワークショップ 夏の美術館 ワークショップ① (2日に分けて行います)	7月4日(土) 午前10:00～ 午後3:30(予定)	現代作家 木村崇人氏と WSを準備しよう 大きな布に感光剤をしみこませて乾かします。さて、この布で何をするのでしょうか?	中学生以上	6月4日 ～ 6月30日 午後5時まで
	7月24日(金) 午前10:00～ 午後3:30(予定)	太陽からのおくりもの ～雲になる日～ ワークショップ1日目で制作した布に光を当てるとあら不思議!一緒に光をつかまえてみましょう。		
夏の美術館 ワークショップ② 「美術館を 探検しよう」	8月22日(土) ①午前10:00～11:30 ②午後2:00～3:30	夏休みワークショップ バックヤード見学 美術館職員と一緒に美術館の裏側を探検しよう! 	小学生 (高学年) ～ 高校生	7月1日 ～ 8月19日 午後5時まで

プログラム名	開催日時	イベント内容 (☐は特別展名)	対象	申込期間
ことども美術館③ 「ピカソとあそぼう」 	9月19日(土) ①午前10:00～11:00 ②午後1:30～2:30	ルーヴロ美術館・コレクション ピカソ展(仮) 多彩なピカソの作品を楽しみながらピカソの世界を感じ取ります。 	小学1～6年生 と その保護者	8月19日 ～ 9月18日 午後5時まで 8月19日 ～ 9月19日 午後5時まで
ことども美術館④ 「親子で 美術館を楽しむ日」	11月3日(火・祝) ①午前10:00～11:00 ②午後1:30～2:30	11月3日は 山梨県立美術館の誕生日! 親子と一緒に 作品を楽しみましょう。 	小学1～6年生 と その保護者	10月3日 ～ 11月2日 午後5時まで
「バラの香りを たのしもう」 	11月28日(土) ①午前10:00～12:00 ②午後1:30～3:30	花の画家 ルドウィーデのバラ展 バラを使ってサシェを作ります。 講師:後藤みどり氏 (バラ栽培家)	小学生以上 低学年は 保護者同伴	10月28日 ～ 11月27日 午後5時まで

※「ことども美術館」は鑑賞イベントです

詳細は美術館 HP, NEWS, 各プログラムごとのチラシでご確認ください

\*各プログラムは申し込みが必要です。対象学年をご確認の上、お申し込みください\*

申し込み方法: 電話または FAX でお申し込みください。

希望コース名・氏名(ふりがな)・学校名・学年・電話番号(FAXがある方は FAX 番号)・参加する保護者名をお知らせください。

(申し込まれた方の個人情報は、本事業のみを利用目的とし、当館で適切に管理します。)

問い合わせ・申し込み先

山梨県立美術館「キッズ・プログラム」係  
 Tel. 055-228-3322 Fax. 055-228-3324  
 (電話受付時間: 開館日 9:00～17:00)

山梨県立美術館

# 山梨県立美術館 美術体験・実技講座

様々な美術表現を体験しながら、美術作品の鑑賞の糸口を見つけてみませんか。初めて挑戦される方のための初心者コース、障がい者のための講座、技術を深めてみたい方には実技講座を開設します。

No.	講座名/講師	内容・期間(日時)	申込期間
1	版画 オープン・アトリエ①前期 オープン・アトリエ①後期	版画を専門的に制作している方へ、制作の場所を提供します。 期間：前期4月1日(水)～4月24日(金) 午前9:00～午後4:30 後期：後期5月26日(火)～6月12日(金) 午前9:00～午後4:30 *作家による指導はありませんが、指導員が初心者の相談にのります。	3月23日～4月10日 後期のみ参加の方は、5月16日～24日
2	版画 〔銅版画〕 初心者コース	凹版(銅版画)を理解する初心者のための講座です。この初心者コース受講者でNo.4の〔銅版画〕講座へ進まれる方は、初心者コース終了後にお申込みください。 講座日：4月19日(日) 午前10:00～午後3:30 材料費約500円 *美術館職員が指導に当たります。	4月1日～10日
3	絵画 〔フレスコ画〕 作家：畠永泰雄	フレスコの歴史と技法を学び制作を行います。3日間の連続講座です。材料費約1000円 期間：4月25日(土)～5月3日(日・祝) 講座日：4月25日(土)・5月2、3日(土、日・祝) 午前10:00～午後4:00	4月1日～10日
4	版画 〔銅版画〕 作家：齋藤武士	銅版画の代表的な技法エッチング、アクアチントで制作を行います。初心者は初心者コース受講者のみ対象です。 期間：5月10日(日)～24日(日) 作家指導日：5月10日(日)・16、17日(土、日)・24日(日) 午前10:00～午後4:00 *材料購入希望者は4月19日(日)午後3:30～工房にて注文を受け付けます。	4月1日～10日
5	絵画 〔日本画〕初心者コース 作家：目黒祥元	日本画はどのような材料を使って描くのでしょうか。時間をかけ日本画の初歩を学びます。(年間5回) 作家指導日：6月14日(日)・21日(日)/10月11日(日)・18日(日) / 2月28日(日) 午前10:00～午後4:00	5月30日～6月6日
6	絵画 〔日本画〕経験者コース 作家：目黒祥元	日本画制作経験があり、自主制作しながら年間5回参加できる方を対象とします。 作家指導日：6月14日(日)・21日(日)/10月11日(日)・18日(日) / 2月28日(日) 午前10:00～午後4:00	5月30日～6月6日
7	障がい者のための講座 色や形を楽しもう!①	*〔みなび(みんなで作る美術館)〕のワークショップの1つです。テーマは「おくりもの」です。 講座日：6月24日(水) ①午前10:00～11:30 ②午後1:30～3:00 *美術館職員が指導に当たります。上記の①②から希望の時間をお選びください。 *ご希望があれば保育園、幼稚園、特別支援学級、学校など団体で参加できます。	施設・園、学校など 団体参加の場合のみ 事前にご連絡ください。
8	現代美術 「みなび」ワークショップを 一緒につくろう。 作家：木村崇人	*〔みなび(みんなで作る美術館)〕のボランティアとして活動しながら、作家がいかにワークショップを作り上げるか学びます。 ワークショップ(WS)のタイトルは「太陽からのおくりもの～雲になる日～」。 大きな大きな日光写真を皆で制作して展示します。WSの準備から、WS運営、展示までを一緒に行います。 ・作家とWS準備：7月4、5(土、日) 午前9:30～午後4:00 (7月1～3日も準備しています。) ・ワークショップ：7月12日(日)・24日(金) 午前9:00～午後4:00 ・作品展示：7月25日(土) 午前9:00～午後5:00 (都合の良い時間にいらしてください)	随時受付をします。 下記の申込先までハガキまたは、 Faxでお申し込みください。当日受付も若干名あります。
9	彫刻 「手でみる彫刻」 作家：武末裕子	手で直接彫刻に触れて鑑賞し、素材を楽しみながら彫刻ワークショップをおこない、最終的には複数の素材のレリーフを作ります。材料費がかかります。この講座は定員10名です。 作家指導日：9月6日(日)・13日(日) 午前10:00～午後4:00 (2日間連続講座) 協力作家：古屋祥子、芝田典子	8月20日～26日
10	版画 〔リトグラフ〕 初心者コース	リトグラフに触れる初心者のための講座です。平版の原理を学びます。この初心者コース受講者でNo.11の〔リトグラフ〕講座へ進まれる方はこの日にお申し込みください。 講座日：10月31日(土) 午前10:00～午後3:30 材料費800円 *美術館職員が指導に当たります。	10月14日～21日
11	版画 〔リトグラフ〕 作家：遠藤竜太	本格的に版数を重ねリトグラフに挑戦します。初心者は初心者コース受講者のみ対象です。 期間：11月8日(日)～22日(日) <del>14、15日(土、日)</del> <sup>変更になりました!</sup> 作家指導日：11月8日(日) <del>14、15日(土、日)</del> <sup>変更になりました!</sup> ・22日(日)・23日(日・祝) 午前10:00～午後4:00 29日(日) *材料購入希望者は10月31日(土)午後3:30～工房にて注文を受け付けます。	10月14日～21日

12	版画 オープン・アトリエ②	リトグラフをさらに深めたい方、版画を専門的に制作している方へ、制作の場所を提供します。リトグラフ講座へ申し込みされた方は、講座期間中にお申し込みください。 <sup>25(水)</sup> 18日(金) 変更! 期間：11月22日(月・祝)～12月15日(金) 午前9:00～午後4:30 *作家による指導はありませんが、指導員が初心者の相談にのります。	11月15日～22日
13	絵画 〔油彩画〕 作家：矢野兼三	作家の制作に対する考えをうかがいながら、技法の指導を受け制作します。 期間：1月10日(日)～1月31日(日) 作家指導日：1月10日(日)・17日(日)・24日(日)・31日(日) 午前10:00～午後4:00	12月15日～22日
14	オープン・アトリエ 〔版画以外〕	油彩、水彩、日本画、デッサン、彫刻など、自由に制作できる場所を提供します。 期間：2月2日(火)～27日(土) 午前9:00～午後4:30 *作家による指導はありません。油彩画講座へ申し込みされた方は、講座期間中にお申し込みください。	1月24日～31日
15	障がい者のための講座 色や形を楽しもう!②	色々な形と色を使って遊んでみましょう。 講座日：3月2日(水) ①午前10:00～11:30 ②午後1:30～3:00 *美術館職員が指導に当たります。上記の①②から希望の時間をお選びください。 *ご希望があれば保育園、幼稚園、特別支援学級、学校など団体で参加できます。	施設・園、学校など 団体参加の場合のみ 事前にご連絡ください。

### 注意事項

- ★中学生以上対象。定員は約20名(No.9の講座のみ10名)。初めて講座を受けられる方が優先です。初めての方が多数の場合は、申込期間内に受け付けた方から抽選させていただきます。
- ★障がい者のための講座受講希望者は申し込みの必要はありません。特別に配慮の必要な障がいをお持ちの方や、施設、園、学校など団体で参加される場合のみ事前にご連絡ください。
- ★No.8現代美術「みなび」ワークショップを一緒に作ろう。は、随時受付しています。下記の申込先へハガキまたはFaxで「みなび」担当までお申し込みください。当日受付も若干名あります。汚れても良い服装でお越しください。この講座に限り都合の良い日のみの参加可能です。
- ★作家指導日に欠席がわかっていらっしゃる方は申し込みをご遠慮ください。また、遅刻早退無しが前提です。
- ★基本的に講座期間中は休館日を除いて、毎日午前9:30から午後4:30まで自主制作することが出来ます。ただし日本画は6月、11月の期間のみです。
- ★受講料は無料です。ただし、別途材料費を必要とする講座もあります。
- ★必要な用具・材料は通知(返信はがき)をご覧になり、各自ご用意ください。
- ★版画オープンアトリエをご利用の方は、インク、薬品等の共用品代が必要になります。別途お知らせします。
- ★講座終了日には大掃除がありますのでご協力ください。

### 申し込み方法

往復はがきでお申し込みください。  
往信面に ①講座名 ②〒・住所 ③氏名・年齢(学生の場合は学校名・学年)  
④電話番号(FAX番号も) ⑤経験の有無を記入してください。  
返信面には申込者の〒・住所・氏名を必ず記入してください。  
※申し込みされた方の個人情報は、本事業のみを目的とし、当館で適切に管理します。

### 申し込み先

山梨県立美術館「美術体験・実技講座」係  
〒400-0065 甲府市賈川1-4-27  
Tel. 055-228-3322 (代表) Fax 055-228-3418 (学芸課直通)

平成 27 年度

教師のための鑑賞研究会のご案内



「教師のための鑑賞研究会」をご案内申し上げます。

この会は県立美術館で開催中の特別展について、担当の学芸員とともに実物を見ながら、鑑賞のポイントについて学ぶ研究会です。小・中・高校生が無料となったことで、美術館と子どもとの距離はぐっと近づきました。先生方も、これを機に美術館で楽しく学びませんか。

また、今年度この研究会ではアートカード「みるえ」の授業での有効利用についても探っていきます。このカードは特に、作品から感じたことを言葉に言い換える活動を含むため、言語活用能力を育むことも期待されています。美術や図工以外の先生方にもご参加いただきたい内容となっております。

学校では大変お忙しく過ごされていることと拝察します。時には夕方のお時間を少しだけとっていただき、美術館でこの研究会にご参加ください。きっとご満足いただける内容かと存じます。

1	夜の画家たち -蝋燭の光とテネブリスム-	4月21日(火) 16:00-17:00
2	印象派の故郷 ノルマンディー展 ~近代風景画のはじまり~	6月30日(火) 16:00-17:00
3	ノルマンディー展&アートカード研修会	8月11日(火) 15:00-17:00
4	ルートヴィヒ・コレクション ピカソ展(仮称)	9月10日(木) 15:00-17:00
5	ピカソ展&アートカード研修会	10月15日(木) 15:00-17:00
6	花の画家 ルドゥーテのバラ展	11月5日(木) 16:00-17:00

山梨県立美術館 教育普及 平林・中島・五味  
Tel 055-228-3258 Fax 055-228-3418

山梨県立美術館

<平成27年度の予定>

協力：山梨学院短期大学保育科  
帝京学園短期大学

\*\*\*\*\*

つくろう!あそぼう! 造形広場

5月9日・6月13日・7月11日・8月8日

8月29日・\*10月10日・11月7日・12月12日

1月9日・2月13日・3月5日

すべて土曜日に開催

場所：ワークショップ室 (\*10月10日のみ山梨学院短期大学で開催)

時間：午後1：30～3：30

対象：小学生以下とその保護者

定員：先着100名程度(申込不要)

※開始時刻の10分前にはお集まりください※



\*\*\*\*\*

創作教室

8月30日(日)・12月19日(土)・3月6日(日)

場所：ワークショップ室

時間：午後1：30～3：30

対象：小学生以上(低学年が参加する場合は保護者同伴)

定員：各回ごとに異なります(申込が必要)

\*\*\*\*\*

\*内容、時間など直前の変更もあります。  
各回の詳細はホームページまたは直前の  
チラシでご確認ください。

お問い合わせ

〒400-0065 山梨県甲府市貴川1-4-27

山梨県立美術館 造形広場・創作教室係

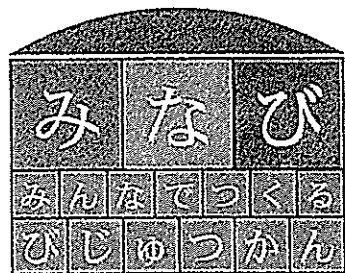
TEL 055-228-3322



# ■アートではっけん! ●おくりもの▲ワークショップ■

申込不要  
参加無料

大人も子どもも、障がいをお持ちの方もだれでも参加できる創作活動です。



★開始時間10分前までに会場に来てください。  
★各回定員は先着100名程度です。  
★駐車場が限られています。お車は乗り合わせてお越し下さい。  
★野外で活動する場合があります。暑さ対策をして、汚れても良い服装でお出かけください。  
★ワークショップの内容は変更になる場合があります。

## 「太陽からのおくりもの～色や形を楽しもう!」

■6月24日(水) ①午前10:00～11:30  
②午後1:30～3:00

会場: 県立美術館 工房 講師: 県立美術館職員

透明シートに絵の具で色をつけます。どんなふうになるかな? 太陽にすかしてみたらどんなふうに見えるかな? どんなおくりものができるかな。

※県立美術館障がい者のための講座と一緒にです。

## 「太陽からのおくりもの～雲になる日～」

講師: 木村崇人氏 (現代美術作家)

- ①7月12日(日) 会場: 山梨県立美術館
- ②7月19日(日) 会場: 河口湖美術館
- ③7月24日(金) 会場: 山梨県立美術館

①～③すべて1回目 午前9:30～  
2回目 午後1:00～

大きな大きな目光写真を参加者全員でつくりまします!  
太陽からどんなおくりものをいたたくてしようか?

## 「太陽からのおくりもの～雲になる日～①②③」の展示をみんなでします。

●7月25日(土) 午前9:30～ 都合がつかう方はお手伝いください。 ※現代美術美技講座と一緒にです。

## 「まるいおくりもの」

▲7月30日(木) 午後1:30～

会場: 県立美術館 工房 講師: 県立美術館職員

まるいキャンパスを作ります。まるい～気分で『まるいおくりもの』をかきましよう!  
きっとみんなが、まるい心になれるよ。

## 「たかが新聞紙、されど新聞紙、新聞紙からうまれるアート」

●8月2日(日) 午後1:30～

会場: 県立美術館 工房 講師: 県立美術館職員

ひとりひとりが新聞紙で長い棒を作ります。みんなの新聞棒がつながって、組み立てて、大きなすてきな『おくりもの?!』になるかな。

## 「プレゼント BOX」

■8月8日(土) 午後1:30～

会場: 県立美術館 工房 講師: 伊藤美輝氏 (山梨学院短期大学教授) ※毎月開催の「造形広場」です。

箱を開けると、中にはすてきな楽しいプレゼント。わくわくドキドキなプレゼントをつくりましよう。

## 作品募集

「みなび展」で展示します。

## 「あなたのおくりものを表現しましょう」

大切なひと・もの・ことへのおくりものを

1つのちいさな箱に表現し、交換しませんか?

★HPで募集要項をご覧になりエントリー用紙をダウンロードしてください。また、Faxでお送りしますので、必要な方はご連絡ください。

### 応募と交換の方法 (50作品募集)

- ① エントリーし (6月30日まで) 箱 (大きさ158mm×158mm×115mm) をうけとります。
- ② おくることを前提に作品を制作します。
- ③ 出品し「みなび」で展示します。
- ④ みなび展会場で交換したい作品を選びます。(交換無しも可)
- ⑤ マッチングできた場合は交換します。
- ⑥ 展示期間終了後 (8月6日15:30～) 受け取ることができます。作品返却も行います。取りに来られない方は後日美術館へお越し下さい。9月下旬まで保管しています。

みなび展 7月26日(日)～8月6日(木) 休館日7月27日(月)、8月3日(月) 午前9:00～午後5:00 (最終日は午後3:00まで)

ワークショップの作品や、ワークショップの様子(ビデオや写真)、募集した作品を展示し、みんなで展覧会をつくりあげていきます。

▲みなび展会期中は毎日ミニワークショップを行います!

(富士山を描こう。未来の自分に手紙を書こう。メッセージカードをつくらう。など)

申込不要  
参加無料

## 山梨県立美術館アートカード

# はじめまして、「みるえ」です



Q.アートカードって何?

→トランプの数字や記号のかわりに、絵や彫刻が印刷されたものです。

Q.どうやって使うの?

→ヒントをたよりにカードを探したり、カードから感じたことを言い合って遊びます。

アートカードで遊ぶと

- ・美術作品を見ることの楽しさを味わわせ、鑑賞に対する興味を高めます。
- ・感じかたの違いを知り、個性を認め合う雰囲気を作ります。
- ・ゲームをとおして言語活用能力や表現力が高まります。
- ・山梨県立美術館の作品について慣れ親しむことができます。

図工や美術の目標の中に「よさや美しさを鑑賞する喜びを味わうようにするとともに、感じ取る力や思考する力を一層豊かに育てるために、自分の思いを語り合ったり、自分の価値意識をもって批評し合ったりするなど、鑑賞の指導を重視する」ことが掲げられました。アートカードはまさにこの部分に働きかける教材と言えます。

アートカード「みるえ」は、10セットごと無料で貸し出します。詳しくは電話でご質問ください。



山梨県立美術館 教育普及 平林・中島・五味  
〒400-0065 山梨県甲府市貢川1-4-27  
TEL055-228-3258/FAX055-228-3418

# 平成27年度 上半期美術館協議会

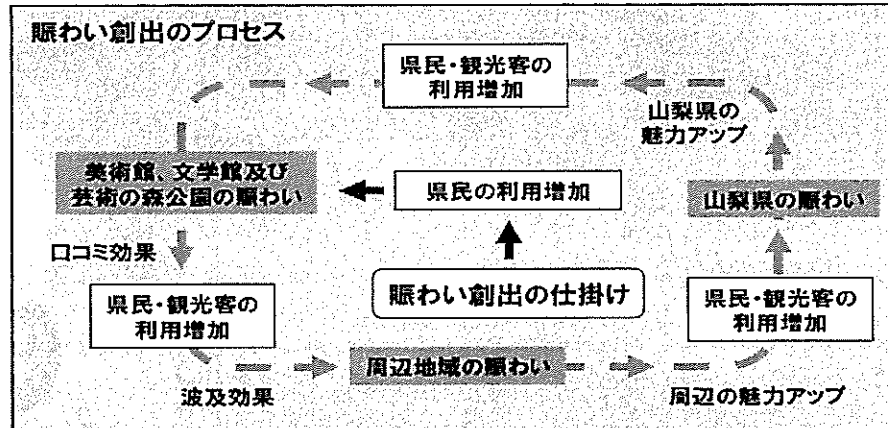
山梨県立美術館指定管理者  
株式会社SPSやまなし

## 目次

1. 2期目の指定管理期間における目指す姿
2. 賑わいの創出
  - ・ 関係各所との連携
  - ・ メディアを活用した広報活動
  - ・ 広報イベントの開催
3. ホスピタリティデザインの構築
  - ・ スタッフ全体研修
4. 基盤整備
  - ・ バラ園の整備
5. 下期予定している活動

### 美術館、文学館及び芸術の森公園が目指す姿

- 県民が日常的に活用する施設であり、県民の誇りでもある施設
- 県内の賑わいを創出する旗艦として機能する施設



### 指定管理者活動トピックス 【2-1】関係各所との連携

山交百貨店からの紹介でクオカード(株)との連携が実現。ミレーの絵画を、クオカードのデザインに使用し全国に「ミレーの美術館」をアピールするきっかけとして進めていく。

昨年に続きJR東海が企画する「アート&トレイン」に参加。美術館で開催される「ピカソ展」や「ルドゥーテ展」の観覧者獲得に向けた取り組みとして、周知を図っていく。



指定管理者活動トピックス  
【2-2】メディアを活用した広報

BSフジ「八木亜希子のおしゃべりミュージアム」撮影対応。(2/16、23)  
分かりやすい内容と斬新な映像で美術館の新たな魅力を発信できた。



放映日:3月15日(日)  
放映時間:13:00~13:55

雑誌「ビッグコミック」で連載中の漫画「そばもん」に美術館が登場。全国規模のメディアを通してエンターテインメント層の来館のきっかけとなることを期待している。



掲載日:前編4月10日  
後編4月25日

3

指定管理者活動トピックス  
【2-3】広報イベントの開催

自主事業「わい!わい!夏祭り」の実施

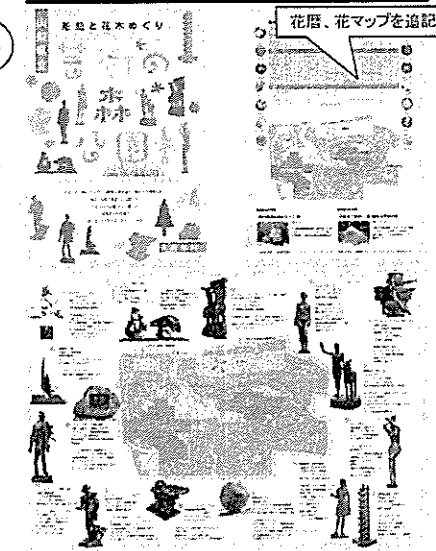
芸術の森公園マップの作成

《イベント内容詳細》9:00~16:00 取材13件  
◆噴水稼働  
◆水鉄砲貸出し※無料  
◆風船王子によるバルーンショー(15-16日)  
◆バルーン教室(16日)※無料  
◆飲食ブース(共同事業体桔梗屋運営)※有料



普段と茶館の少ない小さな  
お子様連れファミリーを  
中心に1150名が参加。  
「来年も開催してほしい」  
等好評で、賑わいの創出に  
なった。

参加者計1,150名



4

指定管理者活動トピックス  
【3-1】ホスピタリティデザインの構築

MAスタッフ全体研修

休館日を利用した研修を3回実施。チームワークの醸成を目的としたワークや緊急時に向けた対応の共有を行った。

2015年3月 前年度振り返り、今年度目標共有、チームワーク醸成  
2015年4月 チームワーク醸成、普通救命講習(AED操作含む)受講  
2015年6月 避難訓練 看視の心得再確認



5

指定管理者活動トピックス  
【3-2】ホスピタリティデザインの構築

緊急連絡メール整備・活用

大規模地震が発生した際に活用する緊急連絡メールを適切に整備・活用するため、緊急連絡メールのテスト配信を行い、職員に正確な情報がタイムリーに伝達できたかの検証を行った。

テスト配信内容

実施日時:6月15日(月・休館日)19:30~

実施方法:自衛消防防災隊長より、全職員に向けて  
緊急連絡メールを送信

想定:職員が出勤していない休館日に震度5を超える地震が発生したと仮定

検証結果:緊急連絡メール送信先 47名

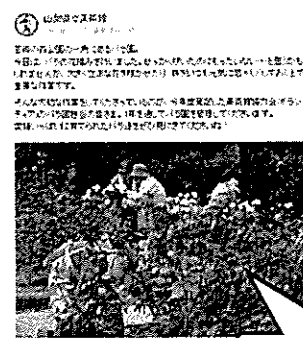
正常に受信 43名

緊急メールが受信できず 4名

6

指定管理者活動トピックス  
【4-1】基盤整備 バラ園の整備

4月から新たに発足した美術館協力会によるバラ園ボランティアが始動。昨年度末に再整備したバラ園の管理を指定管理者と一体となり行った。また、再整備したバラ園を公園の賑わい創出につなげる為、報道関係へのリリース配信や、フェイスブックにて、綺麗になったバラ園をPR。多くの方にご覧いただくきっかけとなった。



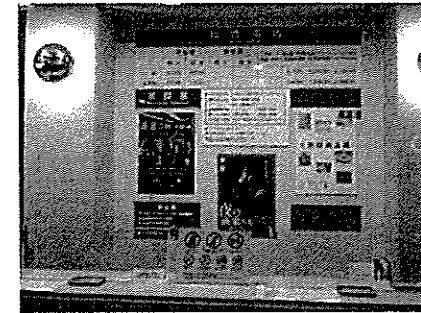
新聞3回(山日新聞社)テレビ1回(山梨放送)に取り上げられた

フェイスブックでも紹介

7

指定管理者活動トピックス  
【4-2】基盤整備 美術館エントランス改修

SPSより総務課・学芸課に提案してきた美術館エントランスの改修が実現。改修にあたっては、両課と何度も協議を重ね、よりお客様に分かりやすくなるように工夫。料金改定等にも柔軟に対応できる仕様にもしており、今後活用していく。



8

指定管理者活動トピックス  
【5】下期予定している活動

一粒のどんぐりから  
(11/1予定)

【内容】

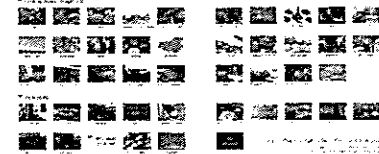
芸術の森公園のどんぐりを拾い苗木に育てたところで自然災害により被害を受けた地域に送り、植樹を通して環境活動を行いたい。

《参加人数》100名  
《主催》SPSやまなし、JR東労組東京  
《協力》NPO法人どんぐりの会  
クリエイティブルーム

Musee Marche  
(11/7.8予定)

【内容】

《開催時間》10:00~16:45頃  
《開催場所》さんさん広場  
《店舗数》飲食、物販:60店程度  
《運営》実行委員会立上げ予定



ピカソ展、ルドゥーテ展も引き続き広報活動を強化し、来館者増に繋げる

9

## 県立文化施設外国人対応拡充事業概要

### ◎ 主旨

我が国は近年、外国からの観光客が急増しているが、2020年開催予定の東京五輪、パラリンピックも見据え、当施設の外国人利用者が増加することも想定し、これに備える必要がある。

平成27年度事業として、国の「地域住民生活緊急支援のための交付金」による「県立文化施設外国人対応拡充事業」の実施が、平成26年度に決定したことを受け、当館においても、以下の施設改修等を行い、外国人利用者に快適な施設利用環境を提供するとともに、全ての利用者の利便性向上を図ることとした。

### ◎ 施設改修等の内容

#### ● 館内標識

文字による表記は、日本語に加え全て英語対応とし、ピクトグラム等図記号も必要に応じて付加した仕様とし、現行標識の問題点を改善し作り替える。

#### ● パンフレット等案内等印刷物

多国語対応のものを含め、新たに作成する。

#### ● デジタルサイネージ（大型ディスプレイ）設置

館内案内及び館の概要に関する情報、その他利用者に有益な情報を、多国語対応にも対応し、提供する機器を新設する。

#### ● Wi-Fi環境

当施設の利用者が携帯端末機器等によりインターネットを利用できるよう環境を整備する。

#### ● 館ホームページシステムリニューアル

現行の館ホームページシステムを、多国語対応として、操作性、機能性、デザイン性が向上するよう改修する。

#### ● ガイダンスDVD

現在、団体客への解説や、各種研修において、館の概要等を説明したガイダンスDVDを活用している。これの英語版を作成する。